

【180】

◇ の勃発

北朝鮮が を越えて韓国に侵入  
 国連軍（アメリカ軍）が韓国を支援 → アメリカの対日占領政策  
 中国の人民義勇軍が北朝鮮を支援 → 主権を回復させ、  
 → で休戦協定調印 同盟国として利用

◇	の創設
	・旧軍人の公職追放を解除し、警察予備隊へ採用
◇	・共産党幹部を公職・報道機関・産業界から追放
	・共産党系の労働運動組織（全日本産業別労働組合会議＝ 弱体化、→日本労働組合総評議会＝総評の結成
◇	日本の独立回復
	・アメリカの 国務長官による講和条約草案 …早期講和を求め、西側への編入をめざす
○	日本の対応
	・ 論…ソ連・中国を含む全交戦国との講和を図る （知識人・社会党・共産党など）
	・ 論…アメリカを中心とする西側諸国と先に講和をする （政府・保守系の正統など）
	・第三次吉田内閣→ を採用 （冷戦構造の中では単独講和が現実的）
○	日本首席全権
	・日本と48か国が調印 （ ・ポーランド・チェコスロヴァキアは調印拒否）
	・インド・ビルマは不参加
	・中華民国・中華人民共和国は招かれない
	・日本の独立承認
	・戦争被害に対する賠償
	・アメリカなどは賠償請求権を放棄
	・主に東南アジア諸国に賠償金を支払う
	・
	・朝鮮の独立、台湾、南樺太、千島列島の放棄
	・沖縄・奄美・小笠原はアメリカ占領状態の継続
◇	米軍の日本駐留（極東の平和と安全のため）…日本の防衛に寄与
	・ の締結
	…米軍への基地提供、米軍の駐留経費の一部負担